

祭典総監督・池辺晋一郎先生を迎えての合同練習

# 「私たちが進みつづける理由」練習会

日時 9月12日(金)  
午後6時30分より

会場 赤羽会館講堂

参加費 500円



SHIN-ICHIRO IKEBE  
池辺 晋一郎

すべての労働者のために、  
すべての父親のために、  
すべての母親のために、  
すべての子ども達のために、  
...私たちは進む

【交通案内】  
JR赤羽駅東口 徒歩4分  
地下鉄南北線赤羽岩淵駅 徒歩10分

東京の合同練習（近県の皆さんもぜひご参加下さい）

8月 17日(日) 17:00~19:00 / 音楽センター（「人間の歌」練習会後に行います）  
（指導 / 杉森俊幸さん）

9月 6日(土) 16:00~17:00 / 目黒区民センター（第5回祭典実行委員会後に行います）

各合唱団単位の練習（公開練習の位置づけです）

\* 合唱団 TOSEI 8月 28日(木) 19:00~ / 墨田区生涯学習センター別館

\* 南部合唱団 8月 19日(火) 19:00~ / 旗の台文化センター

\* 三多摩青年合唱団 8月 23日(土) 18:30~ / さんせいホール(「五月の歌」とセット)

(042-573-0437) 8月 26日(火) 18:30~ / さんせいホール

8月 30日(土) 18:30~ / さんせいホール(「五月の歌」とセット)

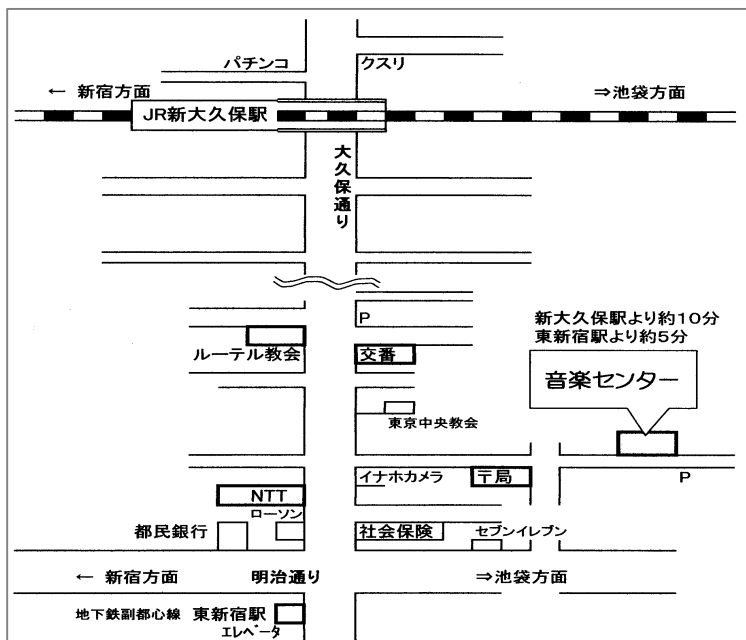
60周年記念 2008年日本のうたごえ祭典 in東京 実行委員会

東京都新宿区大久保2-16-36 電話03-3200-4977 FAX03-6801-7399

参加費  
無用

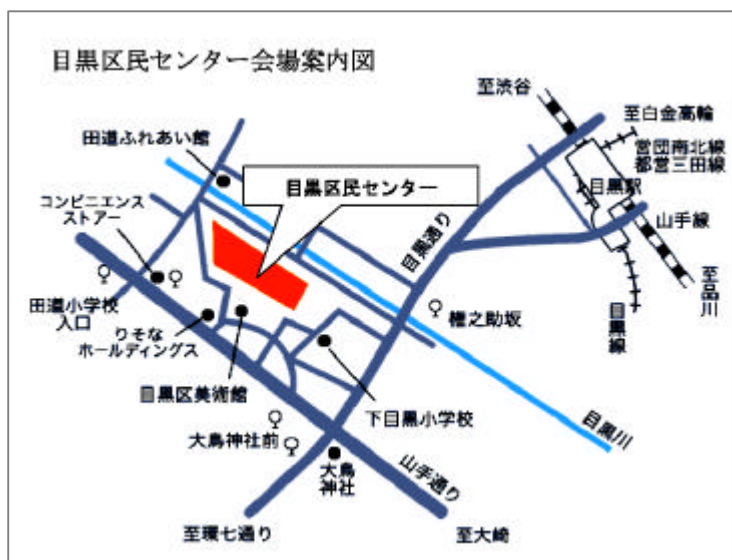
8月 17日(日)  
練習会場  
音楽センター

JR「新大久保」歩10分



9月 6日(土)  
練習会場  
目黒区民センター

JR「目黒」徒歩10分



「私たちが進みつづける理由」

アメリカでは貧困ゆえに子どもが軍隊に入り、戦場に送られる。こんな状況をなくそうとたたかう母親のひとり、キム・ロザリオさんの「百万人の労働者デモにて」と副題のついた詩。

ジャーナリスト堤未果さんが著書「報道が教えてくれないアメリカ弱者革命」巻末で掲げた訳詩を、祭典総監督をお受け戴いた池辺晋一郎さんが合唱曲にして下さいました。

堤さんの訳詩をそのままを歌詞にした作品です。日本でも貧困、雇用問題、ワーキング・プアなどの状況を打開し、人間らしく生き働きたいと、たたかいや運動のうねりが起きています。私たちが共通して抱くその願いを、うたごえ祭典で、この作品で歌い上げましょう。

詩を書いた、キム・ロザリオさん

ヒスパニック系のアメリカ人。息子をイラク戦争に送ってしまった母親として、その後悔と もうこれ以上悲しい想いをする母親を出さないと シンディシーハン (同じくイラクで戦死した米兵の母親で、ブッシュの私邸前にキャンプして面会を求めた。派兵反対の象徴的存在)さんらと共に反戦行動を始めました。しかし、息子を戦場に送らねばならなかったアメリカ社会の深刻な現実には容易ではありません。が、2004年10月16日ワシントンDCでは労働者の100万人デモとなり その時の思いを綴ったものが歌になりました。